



## 梅雨こそしっかりカビ対策

大分は5月末に早くも梅雨入り宣言。この季節になると気になるのがカビ!! カビはアレルギー疾患を引き起こすなど病気の原因になることもあるので、この時期のカビ対策はしっかりしておきましょう。

### カビが引き起こす病気

#### ■カビによるアレルギー症状

◎アレルギー性気管支肺アスペルギルス症

【症状】咳、微熱、喘息、茶色っぽい黄色い痰

気管支喘息の症状とよく似ている。免疫力が低下している場合に起こることが多い。

◎夏型過敏性肺炎

【症状】咳、発熱、倦怠感

「夏になると咳が出る」という自覚症状が特徴。古い日本家屋に住んでいる人は特に要注意。慢性になると呼吸困難を伴い重症化する。

#### ■カビによる感染症

◎カンジダ症

【症状】発疹、炎症

カビの一種であるカンジダが異常繁殖することで起きる炎症。皮膚、爪、口の中、性器、内臓など様々な部位で発症する。体力や免疫力が低下していたり抗生物質を長期に服用した場合に発症。

◎水虫

【症状】かゆみ、水泡

カビの一種である白癬菌が原因。4人に1人が水虫に悩んでおり、一般的には足の水虫が多いが手、爪、頭などにも感染・発症する。再発しやすく治療には根気が必要。



### カビを発生させないための3つの条件

**50%以下に湿度を保つ** (多くのカビは湿度65%以下では発育できません)

①換気・・・風の入り口を狭く、出口を広くすると風通しが良くなります。雨の日は余計に湿気を呼び込んでしまうので、換気は晴れた日の屋間に行いましょう。

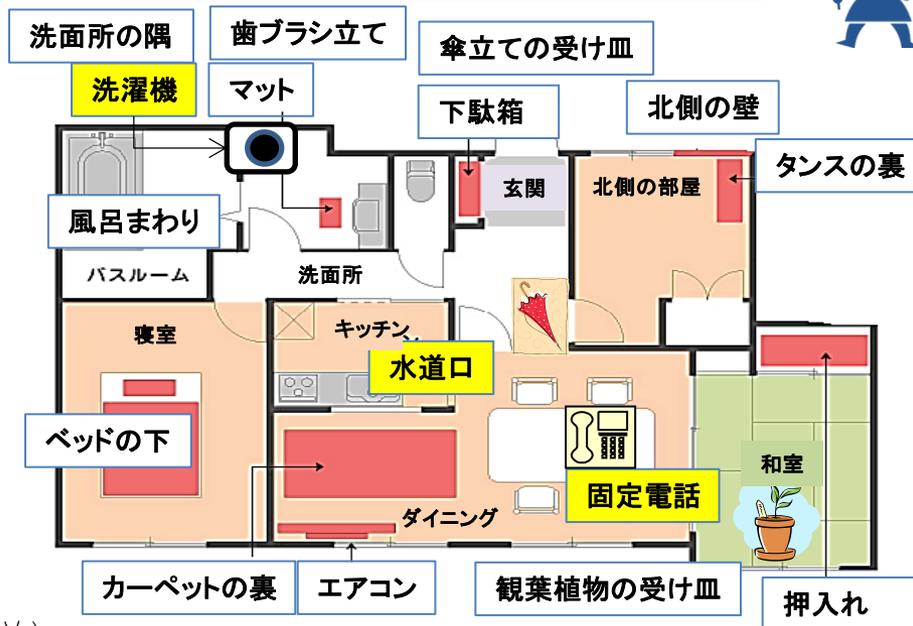
②除湿・・・エアコンのドライ機能や、除湿器を使って部屋の湿気を取り除きましょう。

③掃除・・・この時期はいつもより丁寧に、またこまめに掃除をして、部屋を清潔に保ちましょう。



### カビはどこに多い?

1位 キッチン水道口 2位 洗濯機 3位 固定電話



### カビが生えてしまったときの退治法

- ★畳・・・漂白剤を薄めて硬く絞った布で拭く。畳の目の間は歯ブラシを使用。消毒用エタノールを薄めたものでふき取り、風を通して乾燥させる。
- ★水回り・・・小物を漂白剤につけておく。壁面は漂白剤を下から上に塗っていく。30分~1時間放置して洗い流す。換気扇を回して乾燥させる。
- ★寝具・・・天日干し後に表面をブラッシングし掃除機をかける。掃除機は排気口を外に向け、吸引した胞子が飛び散らないようにする。
- ★キッチン・・・漂白剤と消毒用アルコールで拭きあげる。冷蔵庫のパッキンなども注意。綿棒を使うと隅々まで退治できる。
- ★靴(皮)・・・水洗い禁止。専用カビとりスプレーでカビを落とした後通常の手入れをして、風通しの良いところに2、3日乾燥させる。

#### ■ご注意

引火しやすいので、使用するときや保管するときは、火気に十分注意してください。スチロール製品などに使うと白く濁ることがあります。

#### 薬局で販売しているエタノールの使い方

種類	原液	精製水
消毒用エタノール	薄めずそのまま使用	
無水エタノール	80ml	20ml

